

公立図書館の

共同保存

除籍と保存、の実態

ー 『公立図書館における蔵書構成・管理に関する

実態調査報告書』（全公図）を読みながらー

講師：伊藤民雄氏（実践女子大学図書館）

星野 翼氏（埼玉県立久喜図書館）

主催：特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

全国公共図書館協議会（全公図）は今年3月、『2018年度（平成30年度）公立図書館における蔵書構成・管理に関する実態調査報告書』（注）を発表しました。

調査の主旨は、ICT進展で公立図書館の蔵書を巡る状況にも影響が出て印刷資料だけでなく多様な情報源の整備が求められている、増え続ける蔵書による保存スペース（書庫）狭隘化の問題やどのような資料・情報を収集し保存するかとの課題にも対応するため、とのこと。実態の把握が待たれていたもので、それに全国の公立図書館ほぼ全館から回答を集めた注目すべき調査です。特に新設館でない図書館の“除籍”や“保存”の実態には、共通に抱える弱点が如実に見えてきます。どうしたらいいのでしょうか。

講座には、この調査に助言者として関わった伊藤民雄氏、除籍・保存部分の取りまとめをされた星野翼氏をお招きします。星野氏には埼玉県の保存の現状もお話いただけます。大勢の参加をお待ちします。ぜひ議論しましょう。

（注）都立中央図書館サイト内の、「全公図」> 調査研究報告書から全文が読めます

日時：2019年8月5日（月）午後6:30—9:00

会場：国分寺労政会館第三会議室（3F）

（JR国分寺駅南口から徒歩5分）

資料代500円：事前申込不要（会員外の方も参加できます）

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

〒182-0011 調布市深大寺北町1-31-18

●HP：<https://www.tamadepo.org/>

●E-Mail：depo_tama@yahoo.co.jp

（お問い合わせは、e-mailで♥）